

## 第3学年 ふるさと科学習指導案

児童 男6名 女4名 計10名  
授業者 講師 倉本由紀子

- 1 題材名 吉里吉里よいとこさがし ～吉里吉里の自然のすばらしさを伝えよう～
- 2 題材の目標  
◎ ふるさとの自然やその恵みに触れたり、それらの保全に努める地域の方々との交流をしたりして、生まれ育った地域のよさを体感しながら、ふるさとへの愛着や所属感を高める。
- 3 題材について
  - (1) 児童について  
児童は、地域学習への興味関心が高く、ふるさと科の学びを楽しみにしている。地域で生まれ育ち、新しい世代の担い手として地域の期待を一心に受けている。しかし、多様な家庭の状況や地域産業の変化に伴い、自然環境と密接な関わりのある漁業や林業、観光業に従事する保護者が激減し、地域ならではの恵みを実感する機会が減ってきている。
  - (2) 題材の指導と系統性について  
本学の第3学年では、ふるさと科の学習として、「郷土芸能」及び「方言」、地域の「自然」の3つの学びを位置づけている。江戸時代の豪商「前川善兵衛」が、かつて地域の発展に尽くした偉業と関連づけながら、温かく力強い郷土愛を育てていく。  
本題材は、地域の自然やその恵みを知り、その保全活動の従事者と交流しながら、ふるさとへの愛着や所属感を深めることを目標としている。単元を通して、豊かな自然環境からもたらされるものや、さらに人間の手が加わって産業となったものと両者を取り上げ、どちらも環境保全を必要としていることを強く意識させたい。また、できるだけ実物に触れさせたり、実際に地域の名所に出かけたりして、実体験を積み重ね、理解を深めると共に、環境保全の必要性への問題意識を持たせるようにしたい。
- 4 題材の指導計画 (全14時間)

1時	オリエンテーション
2～5時	吉里吉里巡りをしよう
6～10時	吉里吉里の自然の恵みマップを作成しよう
11～12時	吉里吉里の自然の恵みについて考えよう
13時	吉里吉里の自然を守る活動を考えよう(本時)
14～15時	吉里吉里の自然を守る活動をしよう
- 5 本時の指導 (12/14時)
  - (1) 目標  
◎ 吉里吉里の自然環境を守るために自分達ができることを考える。
  - (2) 研究との関わり  
〈視点2〉児童の思考が深まる学び合いの工夫について  
発言を繋いで学びを深めさせる際、うまく理由を付加できなくても発言させ、友達がなぜそう思ったかを考えさせたい。  
〈視点3〉ねらいに沿った学習及び振り返りの在り方について  
視点を提示して振り返りをしっかりと記述させる。その際、次時が主に活動であるため、それにつながる内容や、友達の意見に関する思い等を発表させたい。
- (3) 本時の評価規準

評価規準	指導の手立て
地域の自然環境を守るためにできることを考えている。	これまで作成したマップや資料を手がかりにして、どんなことが必要なのか考えられるようにする。

(4)展 開

段階	活動内容 (●発問 ○児童の反応例)	・指導の手立てと留意点	◇評価
課題把握 5分	<p>1 今日の問題提起をする。</p> <p>●吉里吉里自然マップの中で一番好きなものは何ですか。</p> <p>○不動の滝。気持ちがいい所だから。</p> <p>○弁天様。きれいな所で、知らない人に教えていから。</p> <p>2 今日の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>吉里吉里の自然環境を守るために自分達ができることを考えよう。</p> </div>	<p>・吉里吉里巡りの写真や自分達で作成したマップを見せて、想起しやすくする。</p> <p>・児童の発言から課題を設定する。</p>	
学び合い 25分	<p>3 学び合う。</p> <p>(1) ゲストティーチャーの話聞く。</p> <p>●「ホタテ」についてゲストティーチャーから学びましょう。</p> <p>○思っていたより大きいな。</p> <p>○お店で売っているのより殻が汚れているな。</p> <p>○どうやって身をとるのか、やってみたいな。</p> <p>○ホタテはこうやって養殖しているのだな。</p> <p>○養殖に適した海の環境はどんななのかな。</p> <p>○河から流れ込む養分の多いきれいな水が必要なんだな。</p> <p>(2) 全体で話し合う。</p> <p>●自然を守るためにできることは何でしょう。</p> <p>○汚れた生活用水を流さないようにしたい。</p> <p>○海や山を汚さないようにしたい。</p> <p>○ゴミのポイ捨てをしないようにしたい。</p> <p>○海や山や川を汚さないようにするにはどうすればいいか・・・。</p> <p>○海だけきれいにすればいいわけではないのだな。</p>	<p>・できるだけ「ホタテ」に触れさせる。</p> <p>・「ホタテ」の養殖に適した環境など、環境保全に結びつきやすい情報を組み込んだ展開にする。</p> <p>・ゲストティーチャーへの質問や感想などを募り、多くの情報を引き出す。</p> <p>・重要な言葉を板書にまとめる。</p> <p>・補助資料を提示し、環境悪化により失われるものを考えさせる。</p> <p>・児童の発言を繋いで学びを深めさせる。理由を付加できなくても発言させ、友達がなぜそう思ったかを考えさせる。</p> <p>・今日の課題に「ホタテ」が結びつくようにする。</p> <p>・今まで学んだ他の海産物に適した環境や特別な地形の保全にも考えを及ぼせる。</p> <p>◇地域の自然環境を守る活動を考えることができる。(発言)</p>	
まとめ 15分	<p>4 学習課題を振り返る。</p> <p>●まとめをしましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>海や山、川をよごさないようにする。</p> </div> <p>○ポスターをかく。</p> <p>○ゴミ拾いをする。</p> <p>5 今日の学びを振り返る。</p> <p>●今日学んだことを振り返りましょう。</p> <p>○ホタテや他の生き物が生きていくには、きれいな山や海、川でなければいけないから、ゴミを捨てたり、川を汚したりしないようにしたい。</p>	<p>・課題に即したまとめになるように助言しながら、児童の言葉を繋いでまとめる。</p> <p>・次時に実践することを決定させる。その際に、ゲストティーチャーに意見を求め、認めてもらう。</p> <p>◇地域の自然環境を守る活動を考えることができる。(振り返りの記述・発言)</p>	